

草花日記

伊藤左千夫

青空文庫

○九月十日 表具屋を呼びて是真筆朝顔の掛軸の表装仕直を命ず。

○十一日 萩見に行く。猶早し。法恩寺は二分、萩寺は三分。

○十二日 小雨、稍寒し。台子を出し風炉に火を入れる。花買いに四目の花屋に行く。紫苑しおんと女郎花おみなえしとを扱えらびて携え帰る。茶を飲みながら兼題の歌、橋十首を作る。

○十三日 岡来る。共に香取を訪う。狭き庭の中垣ともいわず手水鉢ちようずばちともいわず朝顔を這いつかせたり。蔓荔枝つるれいしの花もまじり咲く。

○十四日 檜扇ひおうぎの花を植う。

○十五日 向島の百花園に行く。萩盛りなり。草花の数八百余种ありとぞ。

○十六日 根岸庵の万葉輪講会に行く。途に金杉の絵師某なにかしをおとずれて蓮の絵を見る。

明治33年10月『ほととぎす』

署名 本所 幸男

青空文庫情報

底本：「左千夫全集 第二卷」岩波書店

1976（昭和51）年11月25日発行

底本の親本：「ほとゝぎす 第四卷第一號」ほとゝぎす発行所

1900（明治33）年10月30日発行

初出：「ほとゝぎす 第四卷第一號」ほとゝぎす発行所

1900（明治33）年10月30日発行

※「旧字、旧仮名で書かれた作品を、現代表記にあらためる際の作業指針」に基づいて、底本の表記をあらためました。

※読みにくい言葉、読み誤りやすい言葉には、振り仮名を付しました。底本は振り仮名が付されていません。

※初出時の署名は「本所幸男」です。

入力：高瀬竜一

校正：岡村和彦

2018年6月27日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

草花日記

伊藤左千夫

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>